

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 3 月 25 日

事務事業名		赤浜上大島・つくば益子線、東山田岩瀬線道路整備促進期成同盟会参画事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 050303000365	
総合計画の施策名		0503 道路網の整備				単独		060101	
政策名		05 快適な暮らしのまちづくり						建設課	
施策名		03 道路網の整備						課長名	
手段名		03 ③国道・県道の整備促進						グループ 担当者名	
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目		一般会計 土木総務事業				単年度繰返し (昭和63 年度~)			
法令根拠		赤浜上大島・つくば益子・東山田岩瀬線道路整備期成同盟会会則				☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 県道である赤浜上大島線・つくば益子線・東山田岩瀬線におけるバイパス改良事業の促進を図るため、参画事業を行う。 組織：つくば市、筑西市、桜川市	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 事務局として、幹事会、総会、視察研修会を開催する。 また、負担金の請求徴収や道路整備促進期成同盟会全国協議会会費の支払等の会計事務を行い決算監査を受ける。 ・監査筑西市4/9、つくば市4/12 ・幹事会 (1回) 4/24開催 ・総会 (1回) 5/21開催 ・大会への参加 (2回) 5/16、10/29 ・視察研修会 (1回) 2/17開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・監査筑西市4/9、つくば市4/12 ・幹事会 (1回) 4/24開催 ・総会 (1回) 5/21開催 ・大会への参加 (2回) 5/16、10/29 ・視察研修会 (1回) 2/17開催	幹事会、総会回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	負担金額	千円	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
赤浜上大島線、つくば益子線、東山田岩瀬線	一般県道赤浜上大島線実延長	km	4.33	4.33	4.33	4.33	4.33
	主要地方道つくば益子線実延長	km	25.91	25.91	25.91	25.91	25.91
	一般県道東山田岩瀬線実延長	km	12.60	12.60	12.60	12.60	12.60
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
赤浜上大島線、つくば益子線、東山田岩瀬線の整備促進	一般県道赤浜上大島線規格改良率	%	61.17	61.17	61.17	61.17	61.17
	主要地方道つくば益子線規格改良率	%	82.09	82.09	82.09	82.09	82.09
	一般県道東山田岩瀬線規格改良率	%	83.14	83.14	83.14	83.14	83.14

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	20	20	20	0
	事業費計 (A)	千円	20	20	20	0
量	正規職員従事人数	人	6.00人	6.00人	6.00人	

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
	19 負担金補助及び交付金	20		19 負担金補助及び交付金
	合計	20	合計	20

事務事業名	赤浜上入島・つくば益子線、東山田岩瀬線道路整備促進進期成同盟会参画事業	事務事業No.	50303000365	所属課	建設課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 赤浜上大島線・つくば益子線・東山田岩瀬線整備の促進を図ることを目的として事業開始。（昭和63年11月28日設立）					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 東山田岩瀬線平成28年2月22日真壁町下谷貝（上）区より地権者同意書を添えての陳情あり。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 財源確保などを目的とした県・国等への働きかけにより道路の整備促進を図ることとなり結びつく。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 関係市で組織する協議会なので、参画することは妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 今後も関係道路整備状況の実態を切実に訴えていく 要望活動が必要であるが、財政事情により向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 整備率等の悪化につながる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合） <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がない 定額負担により運営されている組織であり削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 同盟会の参画であり受益者負担にはなじまない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	継続した活動により着実に事業進捗が図られている。東山田岩瀬線下谷貝バイパス部整備については、H30年度から工事着手され順次用地取得と並行して整備が進められている。また、台山高森工業団地入口の交差点改良が図られた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑥																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>